

2018 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・**最終年度評価**)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>視環境設計の要件、評価法や設計法の課題を体系的に整理し、取り組むべき課題についての WG を組織的に整備することができた。WG の活動を活発に行うことができ、設置計画時の想定以上の回数のシンポジウム・公開研究会を実施することができた。初年度に活動期間中のシンポジウム等の開催計画を取りまとめ、その実施に向けた活動を計画的に実施できたこと、また、いくつかのシンポジウムは他の小委員会・WG と合同企画・開催したことが奏功したと考えている。何よりも初年度設置 WG の計画に沿った活発な活動の賜物と言える。合同企画・開催のシンポジウムは、小委員会・WG 間で協働することで互いの活動の位置付けを明確にでき、また、その後の運営委員会内の組織体制の整理、再編につながるなど、良い効果をもたらしたと考えている。</p>			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。